

令和3年6月7日

令和3年第2回都議会定例会を終えて（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 山崎 一輝

第20期都議会最後となる、第2回定例会は本日終了しました。

まず、新型コロナウイルス感染症について申し述べます。

国による緊急事態宣言が再延長されました。感染再拡大の不安は拭えませんが、一歩ずつ前に進んでいかなければなりません。1年以上に及ぶこれまでのコロナ感染症の影響は、都民生活と都内経済活動に広く深く浸透しています。今後、感染症対策に手を抜くことなく、少しずつ日常を取り戻せるよう、かつ有効な経済回復に取り組んでいく必要があります。

そのためにも、国としっかり連携し、首都圏が一体となって、区市町村の実態を踏まえた各種対策を着実に推進していくべきです。また、リバウンドや第4波の発生に至った場合、既に危機的な状況におかれている飲食店や関連事業者にとっては致命的になります。貸付や相談だけに留まらず、こうした関連事業者の事業継続に対する一歩踏み込んだ都独自の支援の実行を強く求めました。

その他にも、多摩地域に都独自のワクチン接種センターを設置すること、区市町村へのワクチン接種促進支援事業の実効性を高めること、ワクチン接種の人材確保・会場確保に全力を尽くすこと、交通不便地域に暮らす要介護者・障害者へのきめ細かな支援を行うこと、災害発生時等を踏まえたワクチン接種の優先順位づけ等について、都民目線に立った支援策を強く要請しました。

次に、東京2020大会についてです。

大会まで50日を切る中、先日、組織委員会が大会の準備状況を公表し、その中で、来日する大会関係者の全体像や、大会時の医療体制などが詳細に示しました。医師や看護師、病院の確保にあたっては、地域医療に支障がないよう、規模や進捗状況も明らかにしました。

このように、安全対策が着実に進められている状況を正確に伝えていくことが、都民・国民の不安を払しょくし大会への理解、気運の醸成につながります。地域医療と両立した大会時の医療・検査体制の確立に向けた取組を強く求めました。

また、先の五者協議において、観客の取扱いについては、国内基準に準じることで合意されました。安全・安心な大会開催に向け、都はIOCに対して、具体的な提案をしっかりと伝えつつ、関係者が一枚岩（ワンチーム）となり、最後の総仕上げに取り組んでいくことを求めました。

次に、財源確保策についてです。今回の補正予算により財政調整基金は、ほぼ底をつきました。しかし、都に「お金がない」わけではありません。バランスシ

ートを見れば、都にはまだまだ膨大な資産があり、負債を引いた純資産の額は29兆円を有しています。

今、なすべきは「お金がない」と嘆くことではなく、あらゆる方策を尽くし、捻り出すことであり、未利用の公有地、建物、そして我々が統廃合を求める特定目的基金など、可能性を秘める資産は残されます。今こそ、長引く自粛や休業要請に苦しみ、瀬戸際にある都民や事業者の方々に還元するべく、コロナ対策の財源確保に手を尽くすことを求めました。

また、我が党が求める個人都民税の20%減税ですが、長引くコロナ禍が家計を直撃し、多くの都民が暮らしを守るため、支出を切り詰める毎日を余儀なくされています。都民の我慢と疲労が限界を迎える中、今なすべきは「家計で使えるお金を増やす」ことです。全ての都民が実感できる、可処分所得を向上させていくためには、広く一律に行き渡る減税こそが最も効果的です。都民とその暮らしを守るため、個人都民税20%減税の速やかな決断を強く求めました。

最後に本会議での問題発言について申し上げます。

本会議での代表質問及び討論において、都民ファーストの会から「国政政党の単なる出先機関でないからこそ」実現できる「都民ファースト」の政策、国にしっかり物申すことができない「古い都議会」云々と揶揄した発言がありました。

我々都議会自民党は、菅総理、二階幹事長をはじめ、政府、党幹部に知事の考え方や新型コロナ対策などの都の重要施策や現状などを、その都度、提言や提案として折衝や要請を重ね政策を実現して参りました。このような行動に対して、国の単なる出先機関と言えるでしょうか。都政は、国との連携がとれるからこそ、真の政策が打ち出せるのです。都民ファーストの会特別顧問を務める小池知事自身が、コロナ対策をはじめ、度々、国や、政党幹部との折衝や要請を繰り返し、政策を進めていることが真にその証左であります。我々は、引続き、都民のためにオール東京で行動してまいります。

今定例会を持って、第20期都議会は4年間の任期を終えます。

都議会自民党は、明日、都議選に向けた「選挙公約」を発表いたします。『命を守る。東京を動かす』をメインタイトルとし、コロナ対策をはじめ16項目の政策を柱に据え、都民の皆さんと我々都議会自民党との「約束」をまとめました。

コロナから都民の命を守り、一刻も早い社会・経済活動の再開に向けて、都民に寄り添い、都民の声に耳を傾け、都民の思いを聞き、都民とともにこの逆境を乗り越え、東京に明るい光を取り戻していくことを固くお誓い申し上げます。

是非、本政策集を一読して頂き、我が党へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。